

第4回 東播磨・北播磨・丹波(加古川流域圏)地域総合治水推進協議会 議事概要

事項	第4回 東播磨・北播磨・丹波(加古川流域圏)地域総合治水推進協議会	出席者	(随行者・事務局除く) 38名
日時	平成28年12月8日(木) 14:00~16:40	場所	小野市うるおい交流館エクラ 大会議室
内容	<p>1 開会</p> <p>2 開会あいさつ</p> <p>3 委員及び出席者紹介</p> <p>4 議事</p> <p>① 東播磨・北播磨・丹波(加古川流域圏)地域総合治水推進協議会設置要綱および公開要領の改訂について</p> <p>② 東播磨・北播磨・丹波(加古川流域圏)地域総合治水推進計画の概要について</p> <p>③ 東播磨・北播磨・丹波(加古川流域圏)地域総合治水推進計画のフォローアップについて</p> <p>④ 取組事例の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上流域の取組 ・中流域の取組 ・下流域の取組 ・加古川減災対策協議会について <p>⑤ 河川中上流部治水安全度向上対策及び東播磨・北播磨・丹波(加古川流域圏)地域総合治水推進計画変更案について</p> <p>5 その他(連絡事項)</p> <p>6 閉会</p>		
資料	<p>議事次第、出席者名簿、配席図</p> <p>資料1 東播磨・北播磨・丹波(加古川流域圏)地域総合治水推進協議会設置要綱</p> <p>資料2 東播磨・北播磨・丹波(加古川流域圏)地域総合治水推進協議会公開要領</p> <p>資料3 東播磨・北播磨・丹波(加古川流域圏)地域総合治水推進計画の概要</p> <p>資料4 東播磨・北播磨・丹波(加古川流域圏)地域総合治水推進計画フォローアップシート</p> <p>資料5 上流域の取組</p> <p>資料6 中流域の取組</p> <p>資料7 下流域の取組</p> <p>資料8 加古川減災対策協議会について</p> <p>資料9 加古川中上流部治水対策5ヶ年計画の推進</p> <p>資料10 東播磨・北播磨・丹波(加古川流域圏)地域総合治水推進計画変更(案)</p>		

1 開会

2 あいさつ（貝塚北播磨県民局長）

3 委員の紹介（事務局）

4 議事

(1) 東播磨・北播磨・丹波（加古川流域圏）地域総合治水推進協議会設置要綱および公開要領の改訂について

⇒「資料1」および「資料2」の説明を行った。（事務局）

(2) 東播磨・北播磨・丹波（加古川流域圏）地域総合治水推進計画の概要について

⇒「資料3」の説明を行った。（事務局）

(3) 東播磨・北播磨・丹波（加古川流域圏）地域総合治水推進計画フォローアップについて

⇒「資料4」の説明を行った。（事務局）

(4) 取組み事例の紹介

⇒「資料5」から「資料8」までの説明を行った。（資料5：丹波土木事務所、資料6-1：加東土木事務所、資料6-2：西脇市、資料7-1：加古川土木事務所、資料7-2：加古川市、資料8：姫路河川国道事務所）

(5) 河川中上流部治水安全度向上対策及び東播磨・北播磨・丹波（加古川流域圏）地域総合治水推進計画変更(案)について

⇒「資料9」および「資料10」の説明を行った。（事務局）

5 その他・連絡事項（事務局）

6 閉会

【主な意見】

4 (3) 東播磨・北播磨・丹波（加古川流域圏）地域総合治水推進計画フォローアップ[°]について

1 フォローアップシートの“河川下水道対策”について、国の事業は河川整備計画に基づく事業促進と記載され、一方、県の事業はバーが記載されていないが、県事業について河川対策と河川整備計画との関連性を補足説明して欲しい。（会長）

⇒河川整備計画では、今後 20 年から 30 年の間に整備する箇所を位置づけており、地域総合治水推進計画の計画期間は、平成 26 年から平成 35 年までの概ね 10 年間となっている。したがって、河川整備計画の中から特に優先性が高く、10 年間で実施する必要のある区間を地域総合治水推進計画に位置づけている。（事務局）

2 県の河川対策でバーが記載されていない理由を再度お願いしたい。（会長）

⇒県の河川事業は国から交付金をいただいて実施しているため、不確定要素が大きく、箇所によっては予算措置されない場合もあり、バーで予定を記載すると誤解を与えることも考えられるため記載していない。（事務局）

3-1 河-4 の県の河川対策に記載されている万勝寺川について、事業概要に記載されている河床掘削や護岸整備が実施されていることはなく、現状では、その都度崩れた箇所の護岸修繕しかされていない。河床掘削をすると、周辺地区の用水の取水に支障が出るため、実施は困難ではないかと思うが、河川整備計画ではどのように考えているのか教えて欲しい。（小野市県民委員）

⇒古い護岸は根入れが浅いことから、わずかな降雨でも護岸が被災しているのが現状であり、その都度、災害復旧や修繕で対応している。抜本的な改修は河川整備計画に位置づけられているものの、現時点で、事業着手の時期は未定である。（事務局）

3-2 難しいと思うが、抜本的な対策をお願いしたい。（小野市県民委員）

⇒要望については十分理解しているが、事業計画はまだ決定していない。（事務局）

3-3 今の事例にかかわらず、地元と話し合いの場はあるのか。（会長）

⇒万勝寺川については、地元との話し合いの場は設けておらず、被災した箇所や問題のある箇所について、随時対応している状況である。（事務局）

4 流-3 の西脇市の“ため池・治水活用に関する普及啓発”の実績の記載について、数値の単位がわからない。また、減-4 に記載の防災行政無線デジタル化に関連して、先日の火事の際に、何のサイレンかわからず、また、アナウンスの方法についても配慮して欲しい。（西脇市県民委員）

⇒まず、流-3 の数値の単位は回数であり、農会長会での治水活用に関する説明の回数をカウントしている。減-4 の防災行政無線については、アナウンスの方法について注意する。（西脇市）

4 (4) -2 中流域の取組－西脇市の取組事例紹介について

5-1 地元住民と一緒に浸水原因を究明する取り組みは非常に参考になった。具体的に、会議の様子や、住民側からどのような課題あるいは原因が導きだせたのか教えて欲しい。(播磨町県民委員)

⇒樋門閉鎖後の9時間で33mmの雨しか降っていないのに、なぜこんなに浸水被害が発生したのかわからなかった。そこで、水路系統に詳しい地元役員等に集まってもらい、当時の状況を各々書き込んだ付箋を、紙上に張出す作業を行った。そこでの意見を踏まえて実施した氾濫シミュレーション結果を地元へ報告するとともに、協議を重ね、今回紹介した取り組みを実施することとなった。

良かった点は、浸水原因の究明段階から計画まで地元と共同で行うことにより、完成後の施設管理においては、地元自らが原因となったゲートのゴミ除去などの事前対策に取り組んでおられ、とてもありがたく思っている。(西脇市発表者)

5-2 私たちの町は沿岸部にあたり、開発によって現状では水路の通水能力が非常に小さく、最近ではわずかなゴミの詰まりでも逆流により浸水するため、住民自ら行動するという意味で非常に参考になる事例であった。(播磨町県民委員)

4 (4) -2 中流域の取組について

6 三木市は斜面上に田んぼがあり、水をいっぱいまでためると、水圧や越水で法面の畦畔がいたむという声を聞く。斜面で実施する田んぼダムについて、対策などがあれば教えて欲しい。(三木市)

⇒近年は場整備した田んぼは畦畔高が30cmあるので、田んぼダムを実施しても大丈夫であるが、それ以前の田んぼは畦畔高が30cmない箇所もあり、畦塗りなどの対策が必要である。ただ、そのための補助メニューがないため、現状では地元の方で多面的機能支払交付金の活用により畦を高くしていただいうえで、協力をお願いしている。(事務局)

7 平成16年に自宅が床上1mほど浸水したが、そういった状況においては、すでに田んぼも浸かっているので効果がない。また、稲刈り後であれば、わらが邪魔になって、自然と田んぼダムになっている。田んぼダムに協力し、畦畔に影響が出た場合は、災害申請は可能なのか。

現在、田んぼダムが実施されて3年ほどなので、実施時期などいろいろな経験を蓄積していけばいいと思う。(三木市県民委員)

⇒災害申請については災害の採択基準を満足すれば、適切な管理がされているという前提で災害申請は可能である。また、田んぼダムの取り組みや管理方法などについても、まだまだ地域に浸透しておらず、今後も事務所として、いろいろ相談、指導させていただきたい。(事務局)

8 加古川の下流で堤防を管理する立場として、上流で田んぼダム等の取り組みを実施してもらっているのは大変ありがたい話である。ただ、最近の水害の特徴として、水門操作

や田んぼを見に行った際に水路に流されるという話も聞くので、田んぼダムの推進と合わせて、担い手の方々の命を守る対策も併せて行って欲しいと感じた。(国委員)

4 (4) -1 上流域の取組について、-2 中流域の取組について

9 上中流域の説明を聞いて、行政がいろいろと取り組んでいることはわかったが、自助という観点ではどうなのか。資料4の減-15,16記載のフェニックス共済欄を見ると、小野市の22.5%を除くと、いずれも加入率が15%以下と非常に低い。西脇市の発表の最後に、“災害から市民の生命と財産を守ることは、全職員の使命”とあったが、行政だけでなく、住民自らも責任を果たす必要がある。フェニックス共済の加入率が低い原因はどこにあるのか、教えてもらいたい。(高砂市県民委員)

⇒小野市では、3年間に限って費用を半額補助とし、補助額をそれぞれの自治会に推進活動助成金として交付したので、各自治会が加入に向けて取り組んだ。また、市長もフェニックス共済の重要性を認識しており、活動助成以降も様々な方策を実施したため、自治会によっては加入率が50～60%を超えるようなところも出てきた。(小野市県民委員)

⇒加西市もフェニックス共済の加入率が低く、問題になっている。比較的大きな河川がないため水害もほとんどなく、大きな山もないため土砂災害の可能性も少ないことから、住民の災害に対する意識が低いと考えられる。(加西市県民委員)

4 (4) -3 下流域の取組について

11 法華山谷川水系の自主防災組織が取り組んだレクリエーション的な防災訓練について、他の自治会等でもノウハウとして活用できるよう情報提供をお願いしたい。

また、水田川については、県事業や加古川市の校庭貯留など積極的に取り組んでもらっており、下流域の播磨町としてはありがたい話である。水田川の下流域には、大きな施設として平岡小学校があるが、今後、校庭貯留の計画があるのか教えて欲しい。(播磨町県民委員)

⇒今回紹介した防災訓練は地域が中心となって実施しており、行政は関わっていない。行政として、皆様に情報提供できるような形を考えていきたい。(加古川土木事務所発表者)

⇒加古川市では、他の学校についても校庭貯留について検討している状況だが、平岡小学校については、今のところ計画はない。水田川流域については、平岡中学校の上流側に面積9haの大きなため池があり、地元にも協力いただき、事前放流を推進しているところである。(加古川市発表者)

4 (5) 河川中上流部治水安全度向上対策及び東播磨・北播磨・丹波(加古川流域圏)地域総合治水推進計画変更(案)について

12 今年度、対策を実施する3河川4箇所については、P66,67に位置づけるということだったが、他の予定箇所については、今後どうなるのか。(会長)

⇒他の予定箇所については、今後対策内容を検討し、検討が終わった箇所から推進計画に

位置づけ、来年度以降順次工事を実施していく。(事務局)

⇒変更案について意見がないようなので、中上流対策として3河川4箇所を推進計画に位置づけることとする。(会長)

【まとめ】

今回の総合治水推進協議会では、河川・下水道対策（ながす）として中上流部の治水対策、流域対策（ためる）として田んぼダムや校庭貯留、減災対策（そなえる）としてフェニックス共済の加入率といった自助の話など、非常に多くの意見が出され、2時間半という限られた時間の中で皆さんの思いが集約されたように感じた。

また、西脇市からの事例紹介では、地域住民によるタイムラインの防災活動が報告され、非常に先進的な取り組みであり勉強になった。

総合治水の推進には、こうして皆さんが集まって情報共有していくことの重要性を再認識した。また、水害はなくなることはないという共通認識のもと、このような会議の場を通して、今後も継続的に取り組んでいく必要がある。(会長)

第4回東播磨・北播磨・丹波(加古川流域圏)地域総合治水推進協議会

出席者名簿

(順不同、敬称略)				
属性	委員氏名	主な役職	出欠	代理人氏名
学識経験者	宮本 仁志	芝浦工業大学教授	出席	
国	朝田 将	姫路河川国道事務所長	出席	
兵庫県	水笠 浩	神戸県民センター長	代理出席	神戸県民センター神戸土木事務所長 山内 良太
	村上 元伸	阪神北県民局長	代理出席	阪神北県民局宝塚土木事務所長 岩崎 日出夫
	柏 由紀夫	東播磨県民局長	代理出席	東播磨県民局加古川土木事務所長 伊藤 裕文
	貝塚 史利	北播磨県民局長	出席	
市町	柳瀬 厚子	丹波県民局長	代理出席	丹波県民局丹波土木事務所長 藤田 宣久
	末永 清冬	神戸市建設局長	代理出席	建設局防災部長 林 泰三
	岡田 康裕	加古川市長	代理出席	建設部総合治水担当部長 樋口 裕昭
	片山 象三	西脇市長	代理出席	技監 藤原 信一
	藪本 吉秀	三木市長	代理出席	危機管理課防災監兼危機管理課長 富田 誠
	登 幸人	高砂市長	代理出席	治水対策室長 今津 賢朗
	蓬萊 務	小野市長	代理出席	水道部長 新免 秀晃
	森 哲男	三田市長	欠席	
	西村 和平	加西市市長	代理出席	総務部長 森井 弘一
	酒井 隆明	篠山市市長	代理出席	まちづくり部地域整備課長 近成 和彦
	谷口 進一	丹波市長	代理出席	建設部長 駒谷 誠
	安田 正義	加東市長	代理出席	上下水道部長 利山 尚由
	戸田 善規	多可町長	代理出席	技監 當倉 良章
	古谷 博	稲美町長	代理出席	地域整備部長 奥州 康彦
	清水 ひろ子	播磨町長	代理出席	下水道グループ統括 喜多 朗
	県民	新田 嘉己	神戸市山田校下自治振興会会長	出席
大淵 俊彦		加古川市町内会連合会会長	欠席	
馬田 寿雄		加古川市町内会連合会副会長	出席	
村上 均		西脇市連合区長会副会長	出席	
岩崎 久男		三木市区長協議会連合会副会長	出席	
中西 君一		三木市消防団長	出席	
前田 栄一		高砂市連合自治会会長	出席	
井上 義三		小野市連合区長会会長	出席	
飛田 佳孝		小野市消防団長	出席	
堀 和久		三田市大川瀬区長	欠席	
山下 公明		加西市区長会会長	出席	
山下 奉治		加西市消防団長	出席	
森口 久		篠山市自治会会長会会長	出席	
上村 行男		丹波市自治会会長会理事	出席	
大野 亮祐		丹波市自治会会長会会計	出席	
篠倉 貞夫		加東市区長会副会長	出席	
笹倉 規生		多可町区長会会長	出席	
植山 保信		多可町消防団長	出席	
宮永 康雄		稲美町自治会会長会会長	出席	
丸山 勝正		稲美町消防団長	欠席	
西澤 一弘	稲美町土地改良事業連絡協議会会長	欠席		
福原 隆泰	播磨町自治会連合会会長	出席		
加納 利治	播磨町消防団長	欠席		

議事録署名人

会長：芝浦工業大学教授

宮本 仁志

北播磨県民局長：

貝塚 史利